

インテック、社内の報告業務を集約・集計する「報告書集計システム」のクラウド版を提供開始 ～社内業務のDX化で作業負担を軽減～

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）は、社内の報告業務を集約・集計する「報告書集計システム」のクラウド版を、アマゾン ウェブ サービス（AWS）のクラウドサービスを活用し、2022年12月から提供開始することを発表します。

■背景

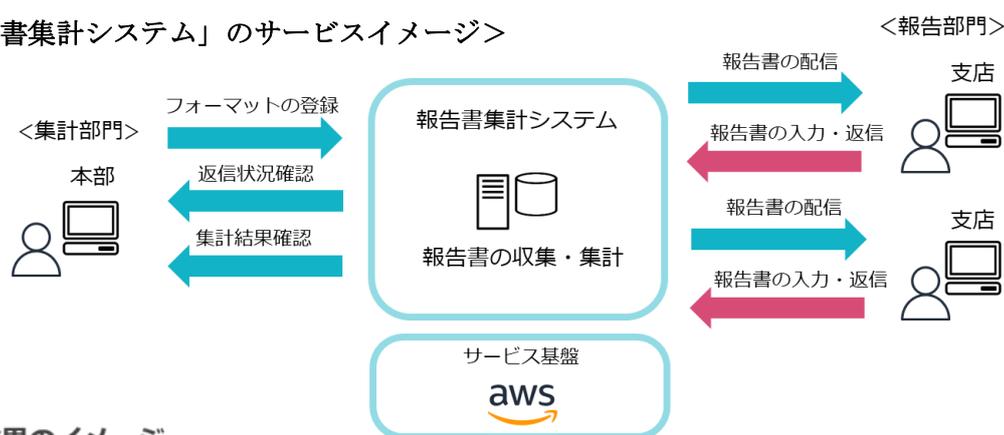
企業内には売上予実報告書、進捗状況報告書、研修参加者報告書など、さまざまな報告書の作成・提出業務や受理・集計業務があります。報告書の受け渡しは電子メールが一般的ですが、本社・支社間や本店・支店間の部門数が多い企業では見落としが発生し、また集計作業は報告書ごとに集計の仕組みが異なるため、属人化しやすいなどの課題がありました。

インテックは報告業務を集約し、報告部門と集計部門の作業を効率化する「報告書集計システム」を1996年に開発し、オンプレミスで提供してきました。今回、お客様のニーズにお応えし、運用の負担がなく、短期間で導入可能な「報告書集計システム」のクラウド版の提供を開始します。

■「報告書集計システム」の概要

「報告書集計システム」を利用することで、報告部門は報告書の入力と提出、集計部門は報告書の収集と集計作業を簡単なボタン操作で実施することが可能です。また、報告書のフォーマットはExcelなどで簡単に作成や変更が可能です。

<「報告書集計システム」のサービスイメージ>



集計結果のイメージ

各支店のデータ

支店名	項目	値
支店A	項目1	100
支店A	項目2	200
支店B	項目1	150
支店B	項目2	300



※くし刺し集計結果
各支社・支店データを合計します。
中計・小計も出力可能です。

集計範囲	項目	値
支店A	項目1	100
支店A	項目2	200
支店B	項目1	150
支店B	項目2	300
合計	項目1	250
合計	項目2	500

※一覧表出力結果（指定様式への出力）
列見出しと行見出し、データを指定し、データを1行に展開して指定様式に出力した例です。

地域	支店	項目	年次											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大都市	関東地区	AC1 東京支店	15	10	10	15	2	3	5	5	5	5	5	
		AC2 横浜支店	20	15	25	10	15	7	9	9	4	4		
	関東地区計		35	25	35	25	17	12	14	14	9	9		
	関西地区	BC1 大阪支店	5	2	10	3	15	2	8	1	5	5		
	関西地区計		5	2	10	3	15	2	8	1	5	5		
大都市計			40	27	45	28	32	12	21	14	14	17		
地方都市	北陸地区	DD1 金沢支店	15	5	25	10	16	2	15	5	10	10		
	北陸地区計		15	5	25	10	16	2	15	5	10	10		
地方都市計			30	20	50	20	22	7	33	13	14	14		
地方都市計			30	20	50	20	22	7	33	13	14	14		
総計			75	47	95	48	59	21	64	27	31	31		

主な機能は次の通りです。

<集計部門>

- ・ 登録
報告書集計システムで報告業務を行うために報告書フォーマットを登録します
どのようなファイル種類のフォーマットでも登録可能です
- ・ 配信
報告書を支店に一括配信します
支店ごとの個別データ入力済みの報告書を個別配信することも可能です
- ・ 収集
各報告書の返信状況、未返信先を一目で確認できます
- ・ 集計
集計処理は、くし刺し集計と一覧表作成が可能です

<報告部門>

- ・ 入力
支店が報告書フォーマットをダウンロードしてデータ入力します
- ・ 返信
データ入力後の報告書をアップロードします
簡易ワークフローで承認者へ承認依頼することも可能です

導入効果として次のようなことがあげられます。

<集計部門>

- ・ 既存の報告書フォーマットを簡単に登録できます。新しいツールの使いかたを覚えたり、業務プロセスを変更したりといった煩わしさがありません。
- ・ EXCEL で作成した報告書の場合、集計範囲を指定するだけで総合計・中計・小計などの帳票を一度に作成できます。
- ・ 集計結果は EXCEL 形式で出力され、収集・集計後の加工も自由自在です。

<報告部門>

- ・ すべての報告作業が当システムで完結するので、報告の都度メールや FAX を見返す必要がありません。
- ・ 報告の締め切りや、未提出報告資料を一覧で確認できます

※「報告書集計システム」の詳細は以下をご覧ください。

<https://www.intec.co.jp/service/detail/report/>

■今後の展開

作業依頼検知のための通知機能や編集後の集計結果のアップロード、各種定型フォーマットの整備など、お客様の利便性を高める機能追加を行っていきます。

また、現時点では閉域ネットワークでの SaaS として提供しますが、今後はインターネット接続利用により幅広いお客様への提供を予定しています。

[インテックについて \(https://www.intec.co.jp/\)](https://www.intec.co.jp/)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964 年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも

変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループはグループ社員約 2 万人が一体となって、強みを活かし、国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつけていきます。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

※ アマゾン ウェブ サービス、AWS、および Amazon Web Services ロゴは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣
E-Mail : press@intec.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック 北陸産業事業本部 金融システム部 吉江、表野、山本
E-mail : info_hs_cloud@intec.co.jp